



43 年間、 本当にお疲れ様でした！

4 コマ漫画「正くんファミリー」作者

北本 久美子 さん

(ペンネーム)

←写真 NG のため、自画像を
書いていただきました！

今回で記念すべき 500 回を迎える「正くんファミリー」。作者の北本久美子さんは元役場職員で、2 年前に定年を迎えたにもかかわらず、今まで毎月漫画をお届けしてくれました。残念ながら、今回で最終回となってしまいましたが、最後に北本さんのスペシャルインタビューをお届けします！

アニメや漫画の影響を受けて

物心 ついたころから、アニメや漫画が大好きで、当時見ていたアニメは「ひみつのアッコちゃん」や「魔法使いサリー」。テレビっ子だったので、かじりつくように見ていました。漫画は少女ものだけでなく、弟が毎週欠かさず買っていたジャンプやサンデーも読んでいました。絵を描くことは昔から好きだったのですが、学生時代に美術部に入っていたことはありません。

高卒 1 年目で連載開始！

高校 卒業後の昭和 52 年 4 月に役場に入庁。企

画課広報広聴係に配属されました。同年 8 月ごろ、当時の担当係長から「広報とうべつに防災の 4 コマ漫画を描いてみたら？」と言われたのが、正くんファミリーの前身「防災一家」の始まりです。絵を書くことは好きでしたが漫画は描いたことがなかったので、最初はあまり描ける自信はありませんでした。とにかく数をこなし、少しずつ慣れていきました。

絵はスラスラ。ネタは…

苦労 したのは、何といっても毎月のネタ作り。町のホームページや広報の担当者からヒントをもらったり、時には新聞やニュースから時事ネタを取り入れたりして、いつも切前はネタ探しに苦労していました。ネタがあまりに出てこない時は、広報の担当者に「今月はお休みにして！」と何度か相談したことがありました。しかし、病気やケガなど以外でお休みすることなく、結果的には 43 年間、無事に漫画を描き続けることが出来ました。

気づけばお母さんの年齢に

実は 正くんファミリーの登場人物にモデルはいません。私が書いていることを知っている人にはよく「お母さんのモデルは北本さんだよね？」と聞かれましたが、連載当初は子どもはもちろん、結婚すらしていませんでした。ただ、漫画を書いているうちに結婚や子育てを経験し、年上だった正くんのお母さんの年齢に追いつき、いつの間にか追い越す歳になってしまいました。そう思うと、自分でもよく 43 年続けることができたと思います。当別町 150 年の節目の年に 500 回を迎えることができ、区切りとしてここで筆を置かせていただこうと思います。後は次ページの選手権の中から、広報とうべつの 4 コマの歴史を絶やさずに受け継いでくれる方が出てくれることを願っています。読者の皆様、長い間本当にありがとうございました。(7月14日取材)

**感動！？ の最終回は
P.29 をご覧ください！**